

広島修道大学のアドミッションポリシー

農学部(仮称)

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

農学部(仮称)は、食農科学、生物科学、環境社会科学の分野で学士課程教育を受けるために必要な基礎学力を備えた人を様々な入学試験制度により選抜し、国内外から広く受け入れます。基礎学力に加えて、特に食と農の現場、生物の多様性、環境と社会の関係に関心を持ち、探究心を持って学び続ける意欲のある人材を歓迎します。

2. 農学部(仮称)の教育を通じて養う能力

食農科学、生物科学、環境社会科学の分野における専門知識と技能を統合的に学び、食料・生命・環境の問題に対応するための実践的な課題解決力と創造力を養います。さらに、ローカル・ナショナル・グローバルな視点を持ち、他者と協働して課題に取り組む力を育成します。また、持続可能な社会の実現に向けた倫理観と社会貢献意識を高め、地域社会や国際社会に貢献できる能力を養います。

食農科学科(仮称)

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

食農科学科(仮称)は、学士課程教育を受けるために必要な基礎学力を備え、「食と農」の現場に関心を持って学ぶことができる人を求めます。これは入学後に本学科において能動的に学修するために必要であると考えられる学生像です。その具体的内容は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」にまとめられています。

(1)知識・技能

高等学校で学習する基礎的な知識を持ち、「食と農」の現場に対して関心を持つ人。

(2)思考力・判断力・表現力

「食と農」に関する問題についての基礎的な知識に基づいて、論理的・体系的に考えようとする意志がある人。

(3)主体性等

学科コンセプト「農場と食卓をつなぎ、新たな価値を創出する食農科学」に共感し、他者と協力して課題解決に取り組む意志がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

- ・「食と農」に関連する文系・理系の枠組みを超えた専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと
- ・書籍や新聞等を読んで、「食と農」に関連する問題をはじめとする国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと
- ・国内外の「食と農」に関連する問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるように努めておくこと

2. 食農科学科(仮称)の教育を通じて養う能力

食農科学科(仮称)では、ローカル・ナショナル・グローバルな視点から「農場と食卓をつなぎ、新たな価値を創出する食農科学」を展開し、実際の農業や食品加工、流通などの現場に還元できる能力を養います。

生物科学科(仮称)

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

生物科学科(仮称)は、学士課程教育を受けるために必要な基礎学力を備え、「生物多様性や環境保全の重要性」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。これは入学後に本学科において能動的に学修するために必要であると考えられる学生像です。その具体的内容は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」にまとめられています。

(1)知識・技能

高等学校で学習する基礎的な知識を持ち、生物科学に関心を持つ人。

(2)思考力・判断力・表現力

生物や環境に関する問題についての基礎的な知識に基づいて、論理的・体系的に考えようとする意志がある人。

(3)主体性等

学科コンセプト「持続可能な農を支える現場主義の生物科学」に共感し、他者と協力して課題解決に取り組む意志がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

- ・生物科学に関連する専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと
- ・書籍や新聞等を読んで、生物科学に関連する国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと
- ・生物多様性や環境保全に関連する問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるように努めておくこと

2. 生物科学科(仮称)の教育を通じて養う能力

生物科学科(仮称)では、ローカル・ナショナル・グローバルな視点から「持続可能な農を支える現場主義の生物科学」を展開し、実際の現場において還元できる能力を養います。

環境社会科学科(仮称)

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

環境社会科学科(仮称)は、学士課程教育を受けるために必要となる基礎的な知識及び技能を備え、自ら考え、実践していくことのできる人材を求めます。これは入学後に本学科において学際的な領域を能動的に学修するために必要であると考えられる学生像です。その具体的内容は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」にまとめられています。

(1)知識・技能

高等学校で学習する基礎的な知識を持ち、農や環境に関する社会的課題に対して関心を持つ人。

(2)思考力・判断力・表現力

社会科学の視点から農や環境の課題を論理的に考えようとする意志がある人。

(3)主体性等

学科コンセプト「農・環境と社会をつなぎ、持続可能な未来をデザインする環境社会科学」に共感し、他者と協力して課題解決に取り組む意志がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

- ・農や環境に関連する幅広い基礎知識を高等学校で学んでおくこと
- ・現代社会が直面する農や環境の課題に関心を持ち、関連する書籍や新聞等を通じて知識を深める努力をしておくこと
- ・社会科学の視点から物事を考える基礎的な思考力を養い、論理的に自分の考えを表現できるよう努めておくこと

2. 環境社会学科(仮称)の教育を通じて養う能力

環境社会学科(仮称)では、ローカル・ナショナル・グローバルな視点から「農・環境と社会をつなぎ、持続可能な未来をデザインする環境社会科学」を展開し、社会科学的なアプローチを通じて、課題を発見し、解決策を提案する力を身につけ、持続可能な社会の実現に寄与することができる能力を養います。

※学部名、学科名はすべて仮称です。

※農学部に関する掲載内容は認可申請中の予定であり、変更となる可能性があります。